

## 検討の経過

- 「大阪府・大阪市成長戦略推進会議」を開催（8月）。これまでの到達点や今後の課題などを府市で共有し、今後の方向性について議論
- 9月府議会にバージョンアップの方向性（中間報告）を提示

## 【これまでの議論における主なご意見】

- ⇒ 大阪の成長を支えているものづくり中小企業に対する取組みについて、成長戦略の中で見える形に落とし込むべき
- ⇒ 新たに重点化を図る分野のうち、第4次産業革命への対応や人材力強化について、大阪・関西らしさをクローズアップできれば、府市でつくる成長戦略ということがよりわかりやすくなる
- ⇒ 重点化と併せて、既存インフラを戦略的に維持していくスタンスも盛り込む必要

## 【中間報告（バージョンアップの方向性〔たたき台〕）以降の検討状況】

- ✓ 大阪のけん引産業・中小企業の状況、第4次産業革命関係、人材関係を中心に更なる要因分析、中小企業や有識者等へのヒアリングを実施
- ✓ 新たに重点化を図る分野の考え方やそれぞれの具体的取組みを整理
- ✓ 成長戦略における2025万博・I Rの位置づけを整理

## 【今後のスケジュール】



## 新たに重点化を図る分野について（分野の考え方）

### 今後の成長市場に関して

- 健康・医療関連産業は、今後高齢化が進むアジアを含め世界的に伸びる市場
  - 大阪・関西には、スポーツや食をはじめとするヘルスケア分野など、健康に関わる産業が幅広く集積
- ⇒ ライフサイエンスのポテンシャルを活かしながら、ヘルスケアなど、すそ野の広い重層的な産業を創出する必要

### 海外市場の動向に関して

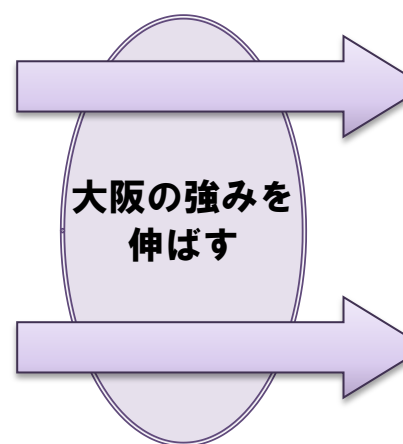
- 2025年頃にはASEAN10のGDPが日本を超えると予測されるなどアジア市場は確実に拡大が見込まれ、アジアとのつながりが強い大阪にとって好機
  - 今後、アジアの中間所得層の増加などにより、海外の観光人口は更に増加
- ⇒ アジアの成長を確実に取り込むため、大阪企業のアジア展開の促進や、経済的な結びつきを強める必要

### 「第4次産業革命」など新たな技術変革への対応

- 新たな技術革新に対応した取組みが今後の成長を左右
  - 第4次産業革命に関連する技術を有するものづくり中堅・中小企業の集積などの大阪のポテンシャルを活かせる
  - 中小企業の多くは、AIやIoT、ロボットなど新たな技術の活用が進んでいない
- ⇒ 大阪産業の競争力を高めるためには、ものづくりのみならず、サービス業なども含め、あらゆる産業分野において、第4次産業革命の技術の活用を図っていく必要

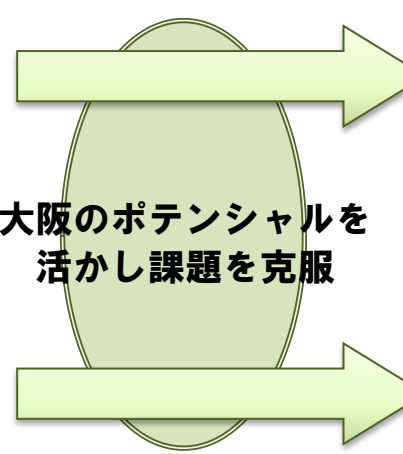
### 「人口・労働力」に関して

- 人口減少が確実となる中、いかに成長を図っていくかが課題
  - 女性や高齢者の就業率が低く、首都圏への若手人材の転出が続く。大学の都心回帰等で増加する学生をいかに定着させるかが課題
  - 中小企業では、経営者等の高齢化が進み、事業承継や技能伝承が課題
- ⇒ 女性や高齢者をはじめとする多様な人材の活躍の幅を広げるとともに、若手人材の定着を図る必要



I 健康・医療関連産業の世界的なクラスター形成

II インバウンドの増加を契機としたアジア市場の取り込み強化



III 第4次産業革命に対応したイノベーションの促進と生産性向上

IV 人口の減少と産業構造の変化に対応した人材力強化

## バージョンアップの全体イメージ

### 日本の成長をけん引する東西二極の一極（副首都）として世界で存在感を発揮する都市

『価値創造都市』、『中継都市』というめざすべき都市像を堅持したうえで、より具体的将来像を提示

世界に存在感を示す拠点都市となるための個性と産業競争力の強化

アジア諸国と結びつき、その社会課題解決や市場ニーズを取り込んで共に成長する循環を構築

人口減少の中でも成長を実現でき、人材の力が最大限に発揮できる都市力の強化

### 重点分野を中心に具体的取組みを集中的に実施

#### I 健康・医療関連産業の世界的なクラスター形成

大阪の成長をけん引する戦略分野として健康・医療関連産業を位置づけ、重点的な取組を進める

重点化・拡充

- ・ライフサイエンスのポテンシャルを活かし、「健康・医療関連産業」を戦略的分野として重点化
- ・食、スポーツをはじめとしたヘルスクエア分野まで含めてすそ野を広くとらえた産業創出を図るとともに府民の健康向上にも貢献

##### 【具体的取組み例】

- ★幅広い健康関連産業の創出（大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォームの運営、スポーツを核にしたビジネス創出等）
- ★健都における医療クラスターの形成（国立健康・栄養研究所の移転に向けた取組み等）
- ★未来医療国際拠点の形成推進
- ★革新的医薬品、医療機器の研究開発・市場化促進（国家戦略特区制度の活用等）
- ★BNCTや重粒子線治療など、最先端のがん医療推進

#### II インバウンドの増加を契機としたアジア市場の取り込み強化

インバウンド促進から、さらに世界の成長の中心であるアジア市場への集中的な取組の推進を図る

重点化・拡充

- ・観光インバウンドの伸びとともに、ASEANなど成長するアジア全体の市場展開を図る
- ・集客だけでなく、人材育成や輸出産業の強化など幅広い分野へつながりを広げる

##### 【具体的取組み例】

- ★中小企業等の海外ビジネス展開支援の強化（中小企業の販路開拓支援等）
- ★世界に挑戦する起業家・技術者のインバウンド創出支援（大阪インバウンドでの事業加速化支援等）
- ★外国人旅行者の受入環境整備
- ★うめきた2期における「みどり」とインバウンドの融合拠点の形成
- ★G20サミット首脳会議の大阪誘致
- ★関空交通アクセスの整備・改善（なにわ筋線整備促進等）

#### III 第4次産業革命に対応したイノベーションの促進と生産性向上

ものづくりなど大阪の強みが活かせる第4次産業革命にかかわる分野への対応を新たに位置づけ

新規位置づけ

- ・AIやIoT、AIoTなど新たな技術を生産性の向上やイノベーション（ビジネスモデル）の創出を含む幅広い変革の創出につなげる
- ・ものづくりに加え、観光や健康、福祉、建設、一次産業など多様な産業分野での活用をめざす

##### 【具体的取組み例】

- ★AIやIoT、AIoTなど新たな技術の活用によるものづくり中小企業の競争力強化（IoT推進ラボによる支援等）
- ★第4次産業革命の技術を活用した新事業、スタートアップ企業の創出（府内企業と第4次産業革命シーズ企業との事業提携の促進等）
- ★電池産業における企業集積の促進と中小・中堅企業へのビジネス拡大
- ★中小企業・小規模事業者への事業承継支援
- ★AIやIoT、AIoTなど新たな技術の実証実験の推進

#### IV 人口の減少と産業構造の変化に対応した人材力強化

人手不足、人口減少への対応を横断的な課題として新たに位置づけ

新規位置づけ

- ・産業・雇用政策だけでなく、教育、福祉、住環境、都市基盤など多面的に人手不足への対応が必要になることを位置づけ
- ・潜在的な労働力の活用など多様な人材が活躍できる環境づくりに重点的に取組む

##### 【具体的取組み例】

- ★女性が活躍できる環境づくり（女性のキャリアデザイン支援、保育環境の充実等）
- ★優れた人材の世界からの呼び込みや定着支援（外国人留学生の就職支援等）
- ★若者の定着・安定就職のための取組み強化（大学と連携した就職・キャリア支援等）
- ★介護職場環境の改善（AIoT技術の導入促進等）
- ★AIやIoT、AIoTなど新たな技術に対応した人材の育成
- ★世界で活躍するグローバル人材の育成強化

※具体的取組みの未確定事項については、調整状況を見極めて成案に反映予定

#### 2025日本万国博覧会

- ・健康・医療関連産業を中心に、大阪の高い技術力を、国内外に示す
- ・世界的な課題解決にも貢献
- ・イノベーションを喚起

2025日本万国博覧会やIRの実現に向けた取組みとあわせて上記の重点分野の取組みを加速させるとともに、実現後はそれらをインパクトとして更なる大阪の成長・発展につなげていく

#### IR

- ・集客のみならず、MICE等を通じ、世界から人材や情報が集まり、新たなビジネスや価値を創造
- ・都市ブランド力の向上

#### 【知的インフラの充実】

【※府立大学と市立大学の統合、スーパー公設試の創設 など】

#### 【都市インフラの充実】

【※高速道路、鉄道ネットワークの充実・機能強化 など】

5源泉のもと、土壌となる知的インフラや都市インフラの更なる充実を図るとともに、4つの重点分野を設定

成長のための5源泉〔集客力、人材力、産業・技術力、物流人流インフラ、都市の再生〕